

兵庫県水産技術センターだより

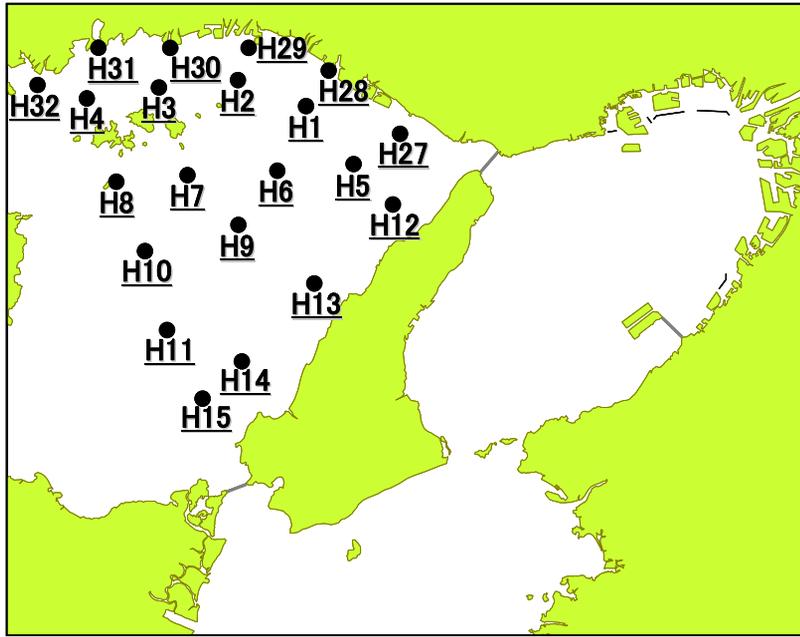
赤潮情報 AK-06-15 号 (播磨灘全域)

令和6年8月1日発行

7月31～8月1日に赤潮プランクトン調査(播磨灘全域:定期調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン(シャットネラ・アンティカおよびマリーナ、シャットネラ・オバータ)が確認され、引き続き一部の地点で警戒体制値を超えています。活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分ご注意ください。
- ・赤潮の発生しやすい時期を迎えていますので海域の着色状態、溶存酸素の低下(酸欠)にごご注意ください。



シャットネラに警戒を!

- ・魚類養殖を行っている地区では、海水が茶褐色に変色している場合や魚の様子がおかしいと思われる場合、餌止め等の処置を行ってください。
- ・魚の畜養等にも十分注意し、活魚を積んだ漁船の航行に際しては、変色した海域を避けるなどの対策を講じて下さい。

注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値
 注意体制: 10細胞/ml 警戒体制: 100細胞/ml
 カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ
 注意体制: 500細胞/ml 警戒体制: 5,000細胞/ml
 ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ
 注意体制: 50細胞/ml 警戒体制: 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロブサ	フィロコッカ・シボカ	コロドニウム・ポリカロイクス	ヘテロカプサ・アオ
H1	0	0	0	12.7	1.3	1.3	0	0	0
H2※1	0	0	0	1.3	0	0	0	0	0
H3	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0
H4	0	0	1	0	0	0	0	0	0
H5	0	0	0	4	0	0	0	0	0
H6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H8	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0
H9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H13	0	0	0	3	0	0	0	0	0
H14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H27	0	0	0	5	0	0	0	0	0
H28※1	0	0	0	38.0	1.3	0	0	0	0
H29※2	0	0	0	140.0	2.0	0.7	0	0	0
	5	0	0	12.7	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	115.3	0.7	0	0	0	0
H30※1	0	0	0	25.3	0	0	0	0	0
H31※1	0	0	0.7	1.3	0	2.0	0	0	0
H32	0	0	0	2	3	0	0	0	0

※1: 赤潮情報 AK-06-14 の一部(水深0mの調査データ)を再掲、※2: 水深0mの細胞数が多かったため中・底層を追加で検鏡

【今後の調査予定】 8月5日に定期調査(播磨灘北部)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報」としてお知らせします。また、赤潮の発生状況によって臨時調査を実施した場合にも「赤潮情報」としてお知らせします。

お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 鈴木、大野)
 Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604 Homepage: <https://www.hyogo-suigi.jp/>

※8/2 調査結果の一部に記載漏れがありましたので修正しました。(H29の中・底層のヘテロカプサ、カレニアの細胞数)